

イケラブ

2013年6月
創刊 第1号

【発行元】
池田町
商工会青年部

事務局
572-2135

十勝ワイン 50周年ステッカーと新・電話帳



池田町が誇る十勝ワインが、今年で生誕50周年を迎えます。清見の丘にはワイン城が建ち、中では当然十勝ワインが製造されていますが、この姿を50年前に一体どれ位の人

我が町、が想像したのでしよう？

詳しいヒストリーは、丸谷金保元町長の著書「赤字で町はつぶれない」（趣味のナイガイさんに売ってます）を是非、ご覧ください。その記念すべき50周年。今ひとつ町内の盛り上がり欠けている状況に一石を投じるべく、我が商工会青年部でも「十勝ワイン50周年記念ステッ

カー」を制作致しました。剥がす時にもノリが残りにくいスグレモノのステッカーです。で、皆様のお車、ご自宅の玄関、町内をステッカーで溢れさせましょう！

このステッカーと一緒に配られました2013年度版の電話帳「まいどころる池田」。

今回より巻頭に、「職業別一覧」を掲載し、使い勝手が向上。今回ご協賛頂いた広告主様の商売繁盛を願うと共に、町民の皆様にも「まいどころる池田」を是非ご活用頂きたいと思えます。



係はパツチリで父も彼に仕事を任せていたそうです。

しかしそんな父も昨年他界され、今は改めて父の偉大さを感じる毎日。30年以上で築いた顧客は十勝全域におよび、その絆は深く、あのヤ○ダ電機の内えに住むお客様まで居るそうです。

尊敬する父が正確な仕事で築いた信用を裏切らず教えを守り、健康とフットワークの良さをウリに「池田町の電気店」としての在るべき未来像を語る彼は情熱に満ちておりました。

最後は「早く嫁さんを」と母の一言でビシッと締めていただきました。無論父あつての横田優だが、今の彼の背中はかなりデカい。（細川征史）

部員紹介

横田デンキ：横田優 この男、実にオモシロい！



一見アキバ系？と思わせる彼は創業37年の老舗ヨコタデンキの2代目横田優（37）。名は体を表すと言うがとにかく優しい、そして真面目な仕事オタク。いつも冷静で我々の中では鋭い意見で議論をビシッと締める御意見番でもあるが、時にはシユールな笑いをもたらすムードメーカー的な一面も。

「能ある鷹は爪を隠す」

多くを語らずとんだん人を引き着ける魅力を持つ彼にピッタリの言葉かも。そんなフライングゲットな彼は

昭和50年生まれ、学生時代は家業に興味も持たずろくに手伝いもせず柔道に打ち込み黒帯を得。高校卒業時に将来を考えた時、父の偉大さに気付き家業を継ぐことを決断し10年間の修行の道を歩むことにしたそうです。なるほど仕事を選ばず何事も真剣に取組む姿勢はこの頃の経験が有つての事と気付かれます。

2005年にUターンした時はとにかく寂しい街になってしまったと嘆き、思い通りに仕事も行かず挫折を味わったそうです。そんな時でも実直な父の背中が余りにデカく「一生懸命やれば後悔しない」「見えない所こそ手を

抜くなよ」と言い、後は無言の教えだった。母曰く、親子の信頼関係



店舗情報

ヨコタデンキ

【住所】 大通7丁目

【電話】 572-14038

【営業時間】 8:30~19:00

【定休日】 日曜日



昔の池田をめぐり

七軒の旅館と製紙工場と



町並み 写真提供：赤坂 正

今回は長年池田町に在住されている方に昔の池田町のお話を聞いてみました。まずは、西2条6丁目の新津商店さんの新津文子さんにお話しを伺いました。文子さんのお祖父さんは今の北洋銀行さんの並びで「池田館」という旅館をされていたそうで、昭和初期まで同じ並びに七軒ほど旅館があったそうです。夜になると、行商人の方達が商売道中に宿を取るのに池田駅で

降りる人が多かったそうです。次に西1条5丁目でお茶屋さんをされていた長畑さんにお話しを伺いました。長畑さんが嫁いだ時、お姑さんは産婆さんをしていました。お名前は「長畑はな」さんです。昔、池田には富士製紙工場もあり忙しかった様で一日に2〜3人は当たり前で多い日は7人も取り上げた日もあったそうです。19才から始めて73才頃までやら

れていたそうで、一万人以上の赤ん坊を取り上げたそうです。はなさんに取り上げられた方は今でもたくさん町内にいらっしやるのではないのでしょうか？ どちらのお話も半世紀以上前の池田町を知る貴重なお話でした。私達の世代にはちょっとしたおとぎ話の様ですが、直接お話を聞いている時は当時の活気溢れる光景が目の前に現れるようでした。
(横田優)



製紙工場 写真提供：赤坂 正

部員紹介

機械好きなきなメガネ屋さん



「メガネのつちや」の店主、土屋雅大(35)さんは、メガネ屋のかんばんを掲げているが、新聞や自転車の修理なども手掛ける、ちくわパンが大好きな独身男子だ。

池田高等学校卒業後は、北見で電子系の勉強をし、札幌のカメラ修理会社に勤務していた経歴がある。

幼いころから彼を知っているが、今も昔も変わらず、機械いじりが大好きな根っからの「メガネ好き男子」だ。そうなったのも小さいころから、自転車屋だった父親の仕事をする姿を見てきて、自然と彼をそうさせたように思う。

転機はそんな父との別れを迎えた時だった。

父親の仕事を継ぐ決意をし、平成19年2月に池田に帰ってきて、自転車屋を始める。



その数年後、縁あって現在の場所に「メガネのつちや」をオープンさせた。細かい作業であるメガネの修理も、カメラ修理や機械いじりの経験を生かし、器用にこなしている。楽しそうに仕事をしている彼の目は今日も輝いている。メガネと共に!!
(小松克全)



店舗情報

メガネのつちや

【住所】東1条36番8

【電話】57218988

【営業時間】10:00〜18:00

【定休日】日曜、祝日



編集後記

商工会青年部フリーペーパーが創刊号として発行されました。池田でがんばる人たちにスポットを当てながら、昔の池田の様子も取材し、読み応えのある紙面作りを心掛けていきます。まだまだ隠れた魅力が眠る池田町の良い所を再発見するため、日々の業務をこなしながら記事を作る商工会青年部。取材時には、是非ご協力お願いします。
(佐々木史織)